

サイバーポート検討WG(港湾・貿易手続)へ
付託する検討事項案



平成30年11月

内閣官房

情報通信技術(IT)総合戦略室

「港湾関連データ連携基盤」構築に向けた検討の流れ

把握すべき内容

- 「港湾関連データ連携基盤」を構築するために、『国際港湾物流に関する民間事業者間で流れる情報』について把握し、システム構築に必要な要件検討及び基本仕様策定が必要。
※『国際港湾物流に関する民間事業者間で流れる情報』とは、貨物輸送を行う際に行われる受発注及び商習慣的に取り交わされる書類群を想定。

調査の進め方

- 検討の推進に先立ち、民間事業者間で流れる書類群についての情報収集を関係者からの協力の下実施。
- 具体的には関係者毎(事業者団体毎)に傘下事業者ご協力の下、実際の利用されている書類またはデータと入力されている情報のサンプルのご提供や業務フローのご提示等をお願いしたい。

分析の進め方

- サイバーポート検討WG(港湾・貿易手続)において、それぞれの書類及びデータ群の整理や、業務上のどのタイミングで貨物の輸出入に係る情報が入力・補完されているか整理・分析を進め、システム設計にあたっての基礎資料として活用。

検討結果のとりまとめ

- 関係者が多岐にわたり複雑に関係し合う各種情報を総体的かつ網羅的に把握し、構成すべき港湾関連データ連携基盤の全体像を明らかにし、次回委員会に提示。

※当面は政策的に要請の強い国際コンテナ物流を先行して対応し、その後バルク貨物、国内海上物流等に機能を拡張していく方針です。一連の業務を通じて関係者が多く、かつ情報量も多い国際コンテナ物流を先行して取り組むことによって、バルク貨物などへの応用・展開が容易、かつ可能になると想定。(システム構築の観点においても開発を効率的に進めることができると想定)

サイバーポート検討WG(港湾・貿易手続)における検討事項等(まとめ)

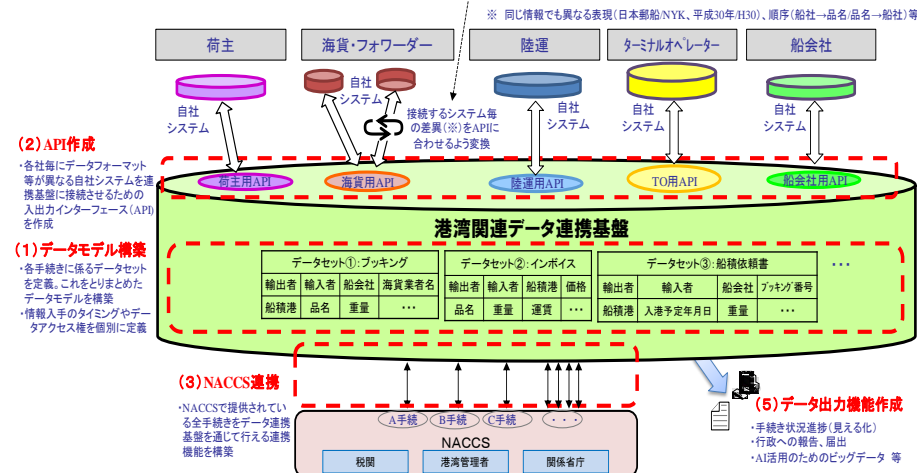
情報収集項目

- ・当該事業者における業務フロー
- ・各業務における電子化状況
- ・情報の提出、受領の手段、形式(紙、FAX、メール、PDF、CSV、XML 等)、割合、様式及び記載内容
- ・品目による情報内容の差異
- ・情報を関係者に受け渡すタイミング(分散しているか、段階的に情報が出来上がるか)
- ・電子的な情報共有をしている場合の内容

検討事項

- ・各事業者の情報項目、受け渡し方法、タイミングを網羅的かつ相対的に整理
- ・システムの構成に必要なデータセット、EDI、API、システム要件等を検討

構成すべき港湾関連データ連携基盤の全体像を整理し次回委員会に提示



左図はイメージ

【参考 1】各関係事業者様への調査・依頼事項（案）

- 事業者様各業務における電子化状況
- 電子化、アナログ（紙、FAX、電話、メール、PDF添付等）業務が共存している場合のそれぞれの割合
- EDIFACT、UCRなど国際基準の活用等に関する現状について（自社利用状況等）
- 国際基準と我が国の情報連携形式（電文フォーマット、様式等）の違い
- CSVやXMLによって情報共有している場合、データフォーマット、記載内容等の詳細

【参考2】荷主関連事業者様への調査・依頼事項（案）

- 輸出入における業務フロー
- 輸出入における貨物情報の提出、受領にあたり情報を得る手段及び形式はどのようなものか
- 扱う品目に応じて提供・受領する情報の内容の差異について、具体的な内容（荷主の団体については複数団体に「検討WG」への参加をお願いしており、幅広く情報を収集する体制を構築）
- 輸出入に必要な情報を関係事業者に受け渡しているタイミング。分散して受領・提供している場合はどのような手法（荷主自身の実施、倉庫業者等に委託等）を用いているか
- 情報伝達手段について、紙面もしくはPDFで対応している場合、その様式、記載内容
- EDIやAPI等の電子的な方法にて情報共有を実施している場合、プロシージャやフォーマット、記載内容等の詳細

【参考3】海貨業者・フォワーダー様への調査・依頼事項（案）

- 輸出入における業務フロー
- 輸出入における貨物情報の提出、受領にあたり情報を得る手段及び形式はどのようなものか
- 扱う品目に応じて提供・受領する情報の内容の差異について、具体的な内容（海貨業者、フォワーダーの視点）
- 輸出入に必要となる情報を関係事業者に受け渡しているタイミング。分散して受領・提供している場合はどのような手法（誰からどのタイミングで等）を用いているか
- 民間事業者間での貨物情報等の共有手段（EDI・API、紙、PDF、FAX、電話）
- 民間事業者間で「連絡票」や「引継書」等を運用している場合、その様式、記載内容等
- EDIやAPI等の電子的な方法にて情報共有を実施している場合、プロシージャやフォーマット、記載内容等の詳細

【参考4】 船会社様への調査・依頼事項（案）

- 輸出入における業務フロー
- ブッキング方法（自社システム構築、プロバイダ利用、NACCS機能仕様等）
- 船積依頼書（S/I）や船荷証券（B/L）など貿易手続に関連する書類の様式
- 輸出入に必要な情報を関係事業者に受け渡しているタイミング。分散して受領・提供している場合はどのような手法を用いているか。また、紙、PDF、FAXによる情報共有の場合、様式、記載内容等の詳細
- EDIやAPI等の電子的な方法にて情報共有を実施している場合、プロシージャやフォーマット、記載内容等の詳細
- 輸出貨物、輸入貨物に係る情報の荷主への提供手段

【参考5】陸運業者様への調査・依頼事項（案）

- 輸出入における業務フロー
- 輸出入における貨物情報の提出、受領にあたり情報を得る手段及び形式はどのようなものか
- 搬入票、搬出票を用いたコンテナ受け取り、受け渡し状況の詳細
- 輸出入に必要な情報を関係事業者に受け渡しているタイミング。分散して受領・提供している場合はどのような手法（誰からどのタイミングで等）を用いているか
- 民間事業者間での貨物情報等の共有手段（EDI・API、紙、PDF、FAX、電話）
- 民間事業者間で「連絡票」や「引継書」等を運用している場合、その様式、記載内容等
- EDIやAPI等の電子的な方法にて情報共有を実施している場合、プロシージャやフォーマット、記載内容等の詳細

【参考6】コンテナターミナル事業者様への調査・依頼事項（案）

- 輸出入における業務フロー
- 輸出入における貨物情報の提出、受領にあたり情報を得る手段及び形式はどのようなものか
- 扱う品目に応じて提供・受領する情報の内容の差異について、具体的な内容（ターミナルオペレータの視点）
- 輸出入に必要な情報を関係事業者に受け渡しているタイミング。分散して受領・提供している場合はどのような手法（誰からどのタイミングで等）を用いているか
- 民間事業者間での貨物情報等の共有手段（EDI・API、紙、PDF、FAX、電話）
- 民間事業者間で「連絡票」や「引継書」等を運用している場合、その様式、記載内容等
- EDIやAPI等の電子的な方法にて情報共有を実施している場合、プロシージャやフォーマット、記載内容等の詳細